

業務改善・少子化についての報告書

(管理者用)

はじめに

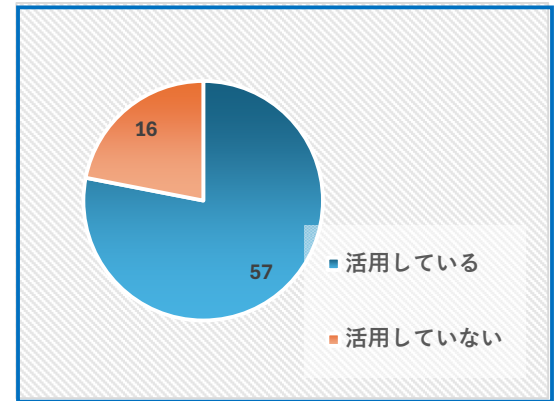
近年、少子化の進行とともに、保育施設の運営においても多くの課題が浮き彫りになっています。業務の効率化が求められる中、改善に向けた具体的な取り組みとして「ICTの導入効果」「少子化などによる定員割れ」「調理員の配置基準」について現状を把握するためのアンケートを取り、今後の運営改善に繋がるように調査した結果を報告いたします。

(回収率 73%)

(1) 業務改善について

業務改善に繋がるためにどのような事を行っていますか？

- ・ ICTを活用している。 57園
- ・ ICTを活用していない。 16園



◆ ICTを活用してのメリットを記入してください。 (自由記述)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 時間短縮・オンライン研修。・ 業務効率が上がる。集計の速さ。・ 時間ができる。人員削減。・ 書類作成時間の軽減。・ 日本標準「キッズビュー」を導入。・ 手書きは無駄が多く、重複する。・ 職員間での情報共有・園児の登降園管理。・ アプリの導入、出欠や送迎の時間などアプリで確認できて便利。・ 園のお便りなどの一斉配信や個別連絡など時間の短縮になっている。・ 園児情報や書類の作成など業務の負担を減らすことができる。・ ペーパーレスでコスト削減。・ 情報管理の難しさにデメリットがあるが、事務の効率化のメリットは大きい。 | <ul style="list-style-type: none">・ 保育情報をタイムリーで家庭に伝えることができる。・ 保護者との連携がとりやすい・職員の負担軽減。・ メールアプリを活用して、保護者への緊急連絡や行事速報。・ 写真など目で見える形で伝えることができる。・ 写真販売に利用しており、業務改善、経費削減に繋がった。・ 保護者との連絡ツールと園フォト。(写真)・ 保育計画の作成などもスピーディーになった。・ ペーパーレス、保育士の業務軽減、連絡帳の記入をなくした。・ 保護者との連絡や保育計画等、多くのメリットがありました。・ 保護者との連絡や保育計画。・ 出欠の確認・おたより・アンケート等の一括送信ができる。・ 登降園の時に使用することで二重チェックができる。・ 登降園・欠席連絡等は、ネットで行い効率的であり、早出勤者の電話対応の業務軽減となっている。 |
|---|---|

◆ ICTを活用してのメリットを記入してください。

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 保育現場で担任が集金をしなくてよい・誤飲や間違いをなくす。・ 集金を「エンペイ」で集金している。・ 子どもの発達状態。（発達曲線）・ 栄養計算・保護者との連絡。・ 保育士の月案、連絡ノートの作業時間が少なくなった。・ 職員との連絡ツール。・ 記録をデータ化でき、書類の整理など事務作業の効率化。・ コミュニケーションの支援。・ データ分析をするのに便利。・ 振り返りをする時の検索のしやすさ。・ 登降園システムでは、打刻により人数が把握しやすく、預かり保育の集計がしやすい。・ 保育士の月案、連絡ノートの作業時間が少なくなった。（写真が送れるので分かりやすい）・ アプリを活用して、保護者への緊急連絡や行事速報、写真販売に利用しており、業務改善や経費削減につながった。業務負担の軽減。・ 集計業務がスムーズになった。・ 保護者との連絡が取りやすい。 | <ul style="list-style-type: none">・ 持ち帰らずに書類を作成できる。・ 子どもと向き合う時間が増えた。・ 怪我の時に先に状況を写真送信できる。・ 連絡帳の記入をなくした。・ 定形文を使うことで資料が作成しやすい。・ 職員の負担軽減。・ 保護者との連絡がスムーズになった。・ 経費削減につながった。人員削減できた。・ 事務作業の効率化につながり、他の業務が行える。・ データ管理できるところ。月案などの記録・計画を作成するにあたり、テンプレートなどを利用できる。・ タブレット⇒パソコン⇒プリンター業務省力できます。・ 手書きでは無駄が多く重複する業務の、省力化になっている。保護者にもメリットは多いと思う。・ 児童にかかわる文書・資料等が作成しやすい。・ 保育情報をタイムリーで家庭に伝えることができる。・ 出欠や送迎の時間等アプリで確認できて便利。・ 職員が活用できるようになって業務改善に繋がってきた。・ 園児情報や書類の作成などで業務負担を減らすことができる。・ 保護者への連絡事・周知が一斉にできたり、保育計画の作成もスピーディーになった。・ 事務が便利、事務の簡素化、職員が共有できる。 |
|--|---|

◆ ICTを活用してのデメリットを記入してください。

（自由記述）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 時間があれば画面を見がちである。・ 使いこなせていない。・ 操作ミスや打刻忘れ（利用者）使用方法の習得（職員）・ システムエラーがあると作業が止まってしまう。・ セキュリティ対策・パソコンなどの環境整備の必要性。・ 日誌等の添削がしにくい。・ 通信障害など作動しなくなったりした時が困る。 | <ul style="list-style-type: none">・ インターネット環境が悪い日は時間がかかる。・ 詳しい人がいないと何もできなくなる。・ システムが止まった時に職員が焦ってしまう。・ システム使用料・メンテナンスの費用の負担増加。・ 個人情報流出する危険性があるので情報共有で投稿しないよう取り扱いについての通知を保護者に配布している。・ ネット環境を整えておくこと。・ 打刻をし忘れると集計にミスができるので、それをチェックする必要がある。 |
|--|---|

◆ ICTを活用してのデメリットを記入してください。

(自由記述)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ すべてを把握するまで作業に時間を費やす。・ パソコンの調子が悪い時は、仕事が中断して困る。・ パソコンが一人一人ではないので効率が良いのか悪いのか……台数不足。・ 苦手な職員は、慣れるまで時間がかかる。・ 子どもの姿を文章化する力が弱くなった。・ データを正確に入力しないといけないので、入力とチェックに時間がかかる。・ 全てをデータ化するのは、難しい。・ セキュリティ対策。・ 手書きのぬくもり（連絡帳等）は、欠ける部分がある。・ 事務処理にかかる時間が短縮されたが、少し誤字が目立つ。・ 登降園時の打刻ミスがあると後で事務的に困ることがある。 | <ul style="list-style-type: none">・ 導入に費用の負担。情報管理の難しさ。・ パソコンの故障やWi-Fiのつながりが悪いこと。・ パソコン・タブレット等購入の補助があればよい。・ パソコンが得意な職員がいる場合といない場合で活用度が変わる。・ 園の様式等に変えられない場合もあり、不便さを感じる。・ 周辺機器の台数が多く、劣化による買い換えに多額の費用がかかる。・ 導入時に補助制度を利用していない施設への買換補助制度を希望する。・ 使いこなせない職員のフォロー、使用方法の習得。・ 維持費・バージョンアップ料などの金額が高い。・ 保育者の業務削減には繋がったが、個人差や手書きのぬくもり（連絡帳等）は、欠ける部分があると思う。・ パソコンなどの環境整備の必要性。 |
|---|---|

◆ ICTを活用していない理由を記入してください。

(自由記述)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 職員への理解の難しさ、ICT導入後の維持費の不安があるため。・ 導入には、補助金を利用できるが維持費がかかる。・ 検討中のため(コスト,メリット,デメリット等)・ ICTを使用しないとできないようになることを懸念しているため。・ 導入には補助金を利用できるが維持費が掛かるため。・ 検討中であるが、どのようなシステムがいいかわからないし、経費もたくさんかかる。 | <ul style="list-style-type: none">・ ランニングコストがかかる。・ 活用したいため、補助金を申請中。・ 導入時の大変さに少し躊躇している。・ 活用したい部分もあるが、多忙である。・ 小規模保育園のため、活用しなくても効率化は図れている。・ コミュニケーションを大切にしたいため、直接のやりとりをしているため。・ 便利というのは理解しているがまだ導入までに至っていない。・ ICTを活用しないとできないようなことを懸念している。・ 自由度が低く、不調になった時の対応が大変になると予想されるため。 |
|---|--|

<考察>

- ・ICTを活用している園が、活用していない園より約2倍多かった。また、導入を検討している園もあり、業務改善を行うにはICTの必要性を考えている園が多いと思われる。
- ・メリット・デメリット数を比べると、メリット数が若干多かった。
デメリットとしては、実際に使用してみるとシステムエラーやネット環境の問題、習得に時間がかかるなど、使用する上での課題が見られたり、購入費や今後の維持費など費用面に不安をもっている園が多いということが分かった。

コラム

業務改善にICTは有効なツールの一つですが、業務改善の本質は無駄なものを省く、或いは必要な業務であっても簡素化する、また、属人化していることを標準化し、分業分担を進める等により、保育者の時間を教育・保育施設の本来業務である子どもとの時間を増やすことが重要です。

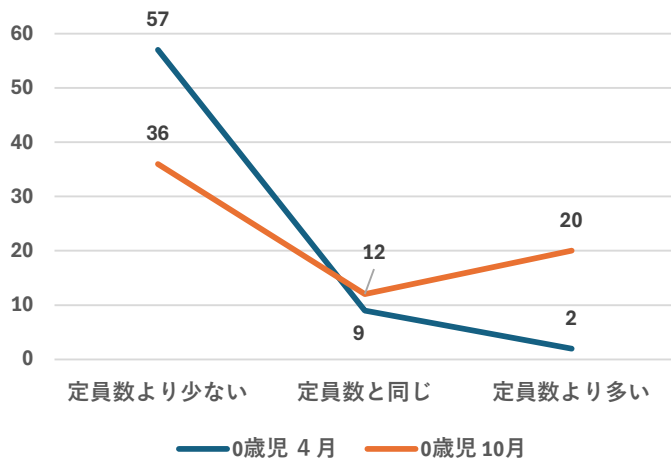
日々の教育・保育業務はもちろんですが、それに付随する会議（ミーティング）、情報共有（業務連絡）、申請・決裁、イベント・行事などの工数管理、また、経理や人事・労務管理に関することなど、運営に携わるすべての職員が当たり前を見直すことで、施設は活性化し、働きやすさが実現することが経営の安定に繋がっていきます。

(2) 少子化について

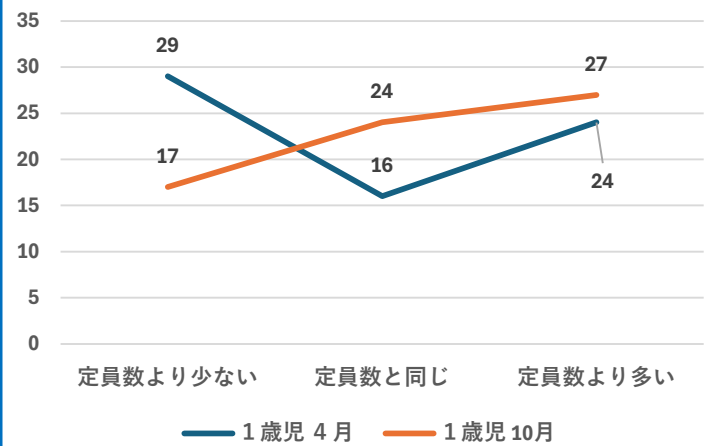
- ・令和5年度4月1日の利用定員数と在籍児童数と10月1日現在の利用定員数と在籍児童数を記入してください。

令和5年度	利用定員数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児 1号児	3歳児 2号児	4歳児 1号児	4歳児 2号児	5歳児 1号児	5歳児 2号児
4月1日	定員数より少ない	57	29	21	19	16	16	17	21	14
	定員数と同じ	9	16	19	11	16	11	23	7	9
	定員数より多い	2	24	29	5	33	9	22	4	31
10月1日	定員数より少ない	36	17	19	20	21	17	20	12	16
	定員数と同じ	12	24	22	10	10	12	15	10	10
	定員数より多い	20	27	27	5	13	7	23	3	28

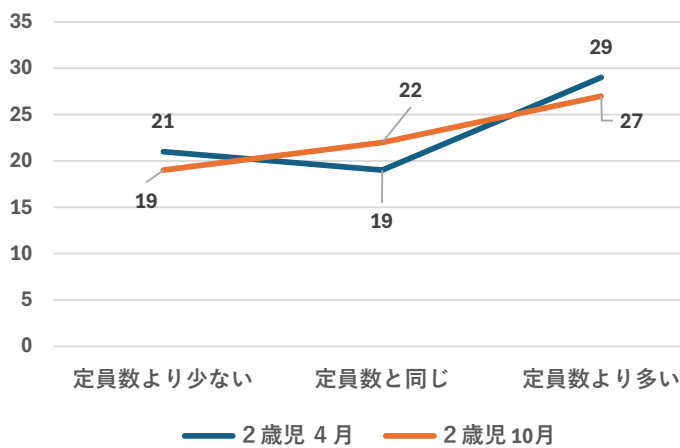
0 歳児



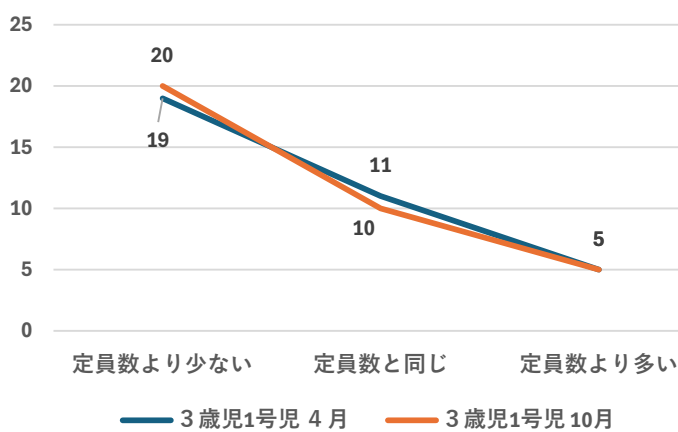
1 歳児



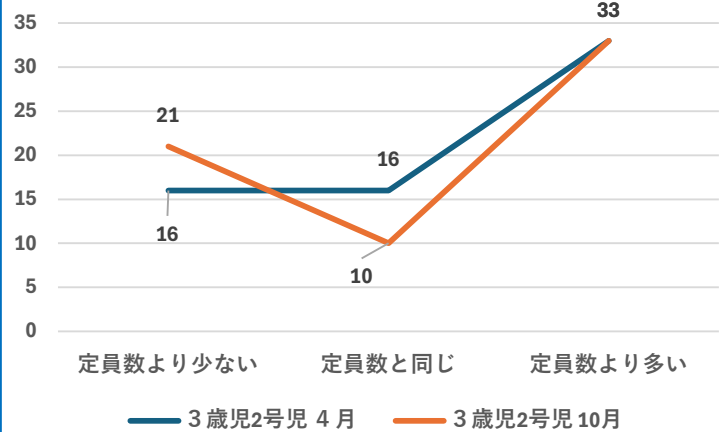
2 歳児



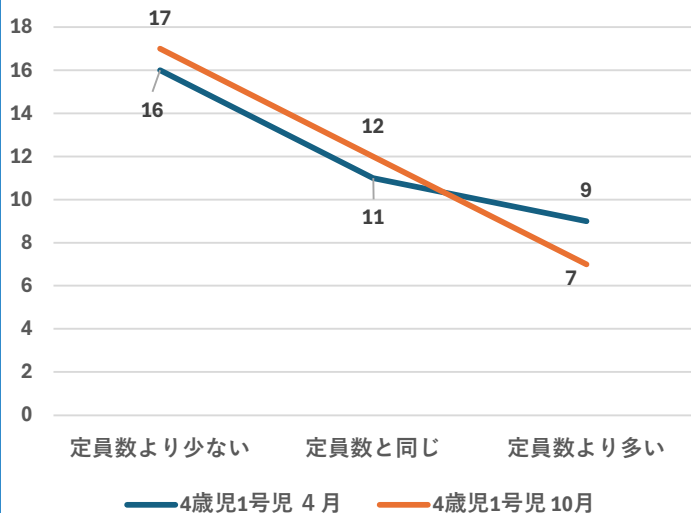
3 歳児 1 号



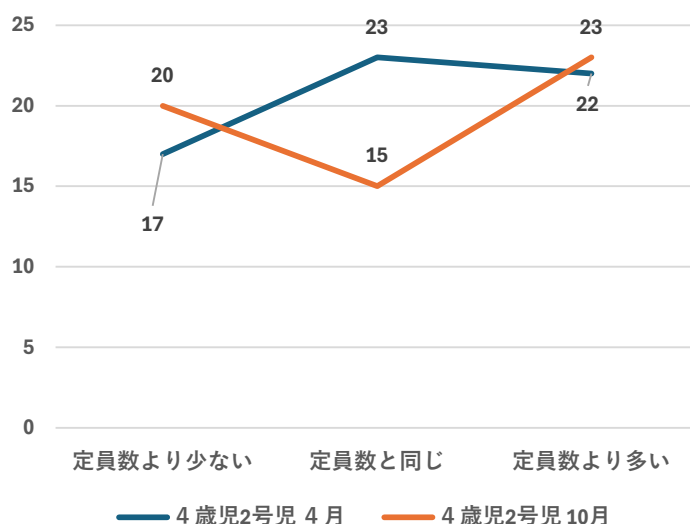
3 歳児 2 号



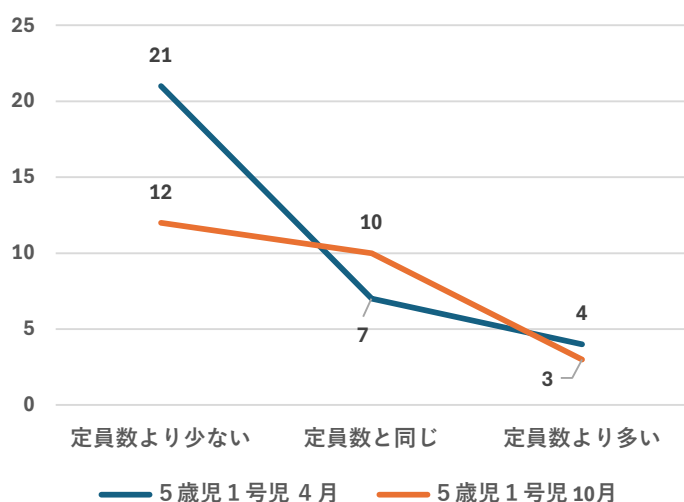
4 歳児 1 号



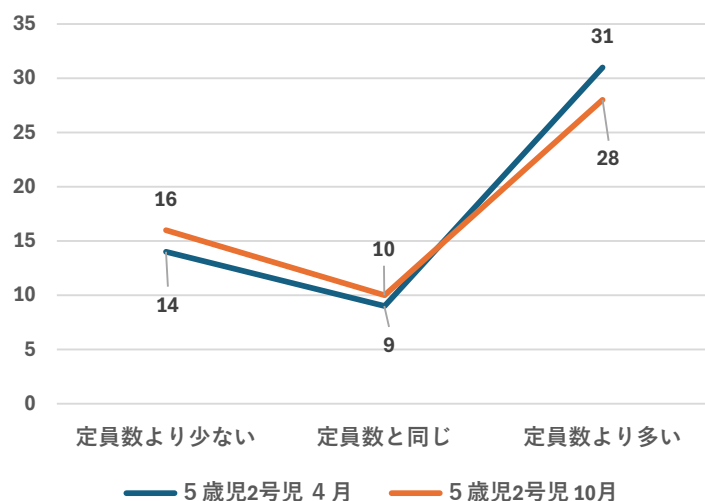
4 歳児 2 号



5 歳児 1 号



5 歳児 2 号



< 考察 >

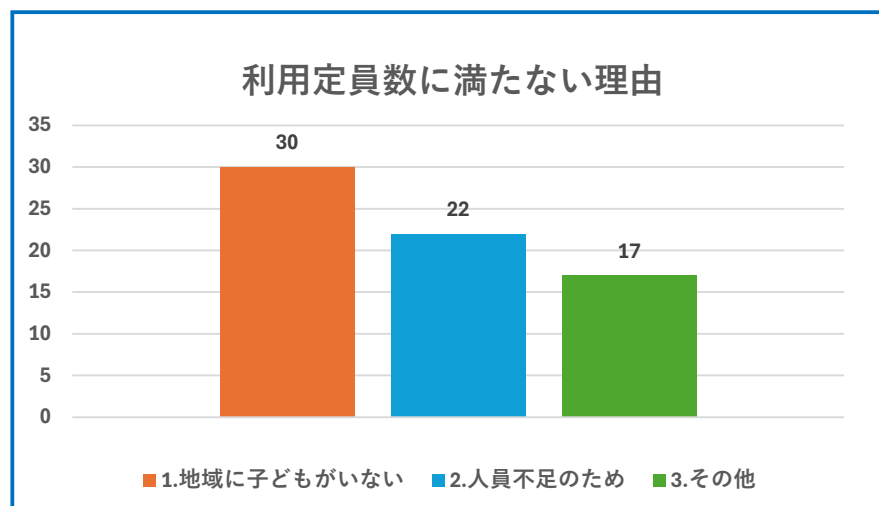
- ・ 今後、地域の子どもの減少や繋がり希薄化等が進んでいくことが想定されるなか、地域における保育の提供の在り方を検討する必要があると考えられる。
- ・ 出生率の低下が見られますが、育児休業の取得が増えていることから、4月当初の入所率が減少しているものと推測される。

コラム

様々な意見の中から、子育ての楽しさをどのように伝えていくべきか考えたところ、園の魅力発信が不足しているのではないかと考えます。保護者の方々が子どもの様子や園での過ごし方に関心を寄せていると推察されますので、子どもたちの表情や保育者の関わりなどを具体的にイメージできる情報発信が求められるところです。園の情報発信においては、それぞれの園の特長や力を入れている点を、保護者の方々や地域の皆様に伝えていき、地域の子育て家庭や福祉課題への取り組みを行い、理解と支持につなげていくことが必要不可欠であると考えます。

・利用定員数に満たない理由として該当するものに○をつけてください。（複数回答可）

- () 地域に子どもがいない。
() 人員不足のため、子どもの受け入れができない。
() その他



- 1, 地域に子どもがいない
■ 2, 人員不足のため
■ 3, その他

◆ その他 （自由記述）

- ・ 障がい児・気になる子への対応に職員が必要となり新入児の受け入れが出来ない場合がある。
- ・ 今年度は職員配置ができていますが、0歳児の入所が少ない。
- ・ 少子化もあると思いますが、育休の期間を長く取得する保護者の方が増えてきたのではないかと考える。
- ・ 新園のため受け入れ人数を抑えた。
- ・ 同地域にいくつもの保育施設があるため。
- ・ 0歳児の希望利用者が4月は少ない。
- ・ 開園時に、市立幼稚園2園からの園児を受け入れる必要があったため。
- ・ 中央部に3園あり、子どもの出生数が減少している。
- ・ 新設園の為、5歳児の入園が少なかった。（昨年度開園時4歳児）
- ・ 定員数を多く設定しなければならなかったため。
- ・ 保護者の就労のため、転出する園児がいたことから。
- ・ 出生率の低下。途中入園児受け入れ予定。
- ・ 職員はある程度確保できているが、定員と入園希望者数のバランスがとれない。
- ・ 地域に子どもがいない。人員不足のため。
- ・ 園の魅力発信不足。
- ・ 育休の期間を長く取得する保護者が増えてきた。
- ・ 1号認定の希望が少ないため。
- ・ 保護者の子育て観と保育園の保育観の違い。

(3) 栄養士（管理栄養士も含む）調理師（調理員も含む）

令和6年4月1日現在の人数

番号	園児数	栄養士	調理師	短時間
1	74	0	2	1
2	104	1	1	1
3	114	1	2	3
4	92	1	1	1
5	55	1	1	0
6	52	1	2	0
7	192	1	1	3
8	82	1	2	1
9	95	0	1	2
10	99	1	2	2
11	104	1	0	3
12	94	1	1	1
13	164	1	3	0
14	78	1	1	2
15	136	1	1	2
16	88	1	1	2
17	60	2	0	2
18	83	1	1	2
19	107	1	3	1
20	57	2	1	2
21	67	2	1	0
22	130	4	0	1
23	105	1	3	0
24	124	2	1	0
25	121	2	0	2
26	112	2	1	1
27	226	1	3	0
28	58	2	0	1
29	25	2	0	0
30	89	1	3	1
31	84	1	1	1
32	100	1(兼務)	0	3
33	123	2	0	3(内栄養士2)
34	86	3	1	1
35	92	1	3	1(栄養士)
36	112	1	2	0
37	67	2	2	0
38	37	1	0	0(給食センター)
39	60	1	1	0
40	100	1	2	0

番号	園児数	栄養士	調理師	短時間
41	40	2	0	0
42	112	1	3	0
43	41	1	1	0
44	66	1	2	0
45	26	2	0	0
46	102	1	1	1
47	42	2	1	1
48	125	2	3	1
49	89	2	0	2
50	31	1	1	1
51	38	0	委託	0
52	15	1	0	1
53	19	0	1	0
54	41	0	2	1
55	55	1	1	1
56	60	2	0	1
57	65	1	2	1
58	65	3	0	0
59	66	1	1	1
60	96	2	1	1
61	98	2	3	0
62	101	1	1	1
63	102	2	1	1
64	107	2	0	1
65	110	1	2	0
66	111	1	1	1
67	124	1	2	1
68	127	1	1	2
69	138	1	2	2
70	141	3	2	1
71	153	1	3	1

保育所・こども園の栄養士・調理師数の回答は、
72園中1園が未記入でした。

【アンケート結果】

- ・定員 40 人以下の 6 施設のうち 2 施設は、栄養士 1 人もしくは調理師 1 人の配置で、他の 4 施設は栄養士・調理師含めて 2 人以上を配置。
- ・定員 41 人以上 150 人以下の 56 施設では、児童数 41 人、55 人、60 人と少ない施設は栄養士と調理師が 1 人ずつで、他 53 施設は 3 人から 5 人を配置。
- ・定員 151 人以上の 4 施設は、栄養士・調理師含めて 4 人から 5 人を配置。

（参考）

調理員の配置基準

定員	40 人以下	・・・	1 人
	41 人以上 150 人以下	・・・	2 人
	151 人以上	・・・	3 人

<考察>

- ・ほとんどの施設で行政が定める調理員等の配置基準を上回る人数を配置していることから、アレルギー対応や離乳食など子どもたちの食事の安全や、調理の効率を上げるために複数の調理員が必要であると考えられる。

コラム

就学前の保育・教育施設における給食は、単なる食事指導だけではなく、子どもたちの食を営む力を育みます。食べることは生きるための基礎であり、五感を使って食べ物を感じながら、思考力や表現する力の育みにもつながっています。

現場では、給食の提供をする際、安全面においても様々な配慮はもちろん、除去食や代替食などアレルギー食への対応、乳児の離乳食等、業務が煩雑化している現状です。テレビや新聞で誤食による死亡事例も取り上げられ、あらためてきめ細かな対応とリスクマネジメントの観点から専門性を活かした食事の提供が求められています。

だからこそ、安心・安全な業務を遂行するために国基準の給食調理員の人数では難しく、多くの園では配置基準以上の職員を雇用せざるを得ないのです。

おわりに

- ・今回の調査を通して、体感や経験だけでなく保育現場の状況を数値化し、情報共有することが、まずは課題解決への第一歩であると感じました。こうして、数値化することで根拠に基づいた意見や提案をすることが可能になると考えます。
- 今後も、常に現場で課題意識をもち、子どもたちの豊かな育ち、安定した園運営につながるような調査を行っていきたいと思います。
- アンケート調査へのご協力ありがとうございました。